

CDトキシン検出率

感染性腸炎の原因菌クロストリジウム・ディフィシル(CD)菌の産生する毒素(トキシン)の陽性率推移は院内感染対策で有用なデータです。

定義・計算方法

陽性率(%) = 陽性象者数 / 検査実施者数

当院の数値

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
依頼数	266	306	280	264	321	328	250	232	292	253
陽性数	27	22	16	12	7	10	17	10	10	5
陽性率	10.0%	7.0%	6.0%	5.0%	2.0%	3.0%	7.0%	4.0%	3.0%	2%

コメント

陽性率が増加しています。院内感染対策委員会主導で、更なる抗生剤療法の適正化および手洗いの徹底を継続します。

陽性率は減少後、横ばいの状況です。今後とも抗生剤療法の適正化、および手洗いの徹底を継続します。

陽性率は減少傾向にあります。今後とも抗生剤療法の適正化、および手洗いの徹底を継続します。